

「手を取り合って、垣根を越えて。」

次世代インターネットを担う 人材を育てよう！

2015年11月20日（金） 13:30 – 14:40

Internet Week IP Meeting 2015

伊勢幸一

インターネットの社会における
教育の難しさや現状について

教育の難しさ

- 教育者不足

- ❑ 日々、旬な技術や実装が入れ替わる
- ❑ 流行り廃りが激しすぎ
- ❑ 教えてる暇無い
- ❑ 育成に対する評価軸が無い
- ❑ 自分が生き残るだけで精一杯

教育の難しさ

- 教育経験不足

- 師弟制度による一子相伝
- ドキュメントが無い
- 引継ぎはソースコード渡し
- 丸投げ式、獅子の子落とし式が多い
- 教育された記憶が無い

教育の現状

- 伝統的OJT

- ❑ 長期研修中に全部署を巡回
- ❑ 配属先にて固定
- ❑ 先輩社員のアシスタント
- ❑ インターン風課題提出型

教育の現状

- 最近のトレンド

- 基礎技術ハンズオン
- コミュニティに突っ込む
- 検証プロジェクトに突っ込む
- 単身海外赴任させてみる

教育の課題

- ❑ 当たり外れがある
- ❑ ガイドラインが無い
- ❑ 育ち過ぎると転職してしまう
- ❑ 洗脳されてしまう事がある
- ❑ 常に試行錯誤

IT業界における人材育成

Pull から Pushへ